ぽれぽれ通信

防衛副大臣を
無事に離任

11・12月号
vol.55

防衛副大臣 通算2年2か月の任を終える

本来の場所に帰ってきた

平成29年8月、山本は初めて防衛副大臣(第17代)に認証され、その在任中に衆議院の解散総選挙が行われ、再選後の同年10月、同副大臣(第18代)に再び認証され、翌平成30年10月まで務め内閣改造に伴い離任し、更に1年後の令和元年9月、同副大臣(第20代)として三度目の認証を受け、本年9月の菅内閣誕生に伴い離任。通算2年2か月の防衛副大臣の任となった。

山本は、衆議院において様々な委員会に所属をしていたが、文部科学委員会の所属が一番長く、同委員会の理事を何度も経験し、文部科学大臣政務官も務め、教員免許を有している山本としては、自らのフィールドとして伸び伸びと職責を全うしていた。従って、自民党関係者も最初、山本が防衛副大臣になるとの報に接した際に、あれ?山本代議士は、文科系ではないのか?と思ったそうだ。しかし、実は、山本は学生時代から始まり、(財)松下政経塾の塾生時代も、米国のジョージタウン大学の客員研究員時代も安全保障政策に関しては、研究を欠かさなかった分野の一つでもあった。その証左として、防衛副大臣就任直後に自民党本部でバッタリ会った元防衛庁長官、元防衛大臣から「やっと本来の場所に帰ってきたね」と言われたそうだ。

実は、山本がまだ若かりし頃、防衛庁(当時)が行っていた「安全保障に関する懸賞論文」に応

募をし、見事、入賞し金一封を貰えることになり、表彰式へと訪ねた防衛庁長官室で待っていたのが、中谷元長官（当時）であった。その当時のことを憶えていた中谷代議士は、山本が初当選を果たし、自民党本部での様々な会合に出るようになり、顔を合わせることになった際に「あの時の！」と声を掛け「これからは一緒に安全保障政策を頑張りましょう」と心強いエールを掛けてくれたそうだ。しかし、前述のように山本の政治家としてのキャリアは、文部科学系の役職が多く、中谷代議士からのエールに沿う形にはなっていなかった。その一連の経緯があったので、前述の中谷代議士からの言が生まれたのである。そして、大先輩から〝やっと本来の場所に帰ってきた〟と評された山本の獅子奮迅の活躍とも言える2年2カ月が始まった。

自衛官の待遇改善 士気向上に邁進

自衛官の仕事は、多岐に渡り、且つ時間的制約や所在地の制約など職務を遂行していく上で、他の職業とは些か異なる困難さがある。北は北海道から南は沖縄まで、果ては、拠点のあるアフリカのジブチ共和国まで部隊の激励に訪問した山本はそれを痛感していた。その職責に報いたいとの思いから様々なアイデアを巡らした。先ずは、給与であった。予算が絡んでくるので、一筋縄では行かなかったが、最初の副大臣の任期から再び副大臣になる間に政府から自民党に戻り、国防部会長の任に当たり、絶好の機会を得た。新たな防衛大綱の策定である。その際に、従来から記されていた「処遇の向上」と言う文言に〝給与〟の二文字を加え、「給与を含めた待遇の改善を明記することによって、初めて新入隊員の初任給を一気に引き上げることに成功した。

自衛官の士気向上のために、制服に着用する徽章類の改善にも邁進した。彼らに与えられる代表的なものは、防衛記念章と防衛功労章であり、それぞれの任務や訓練などに合わせて設けられている。ボーイスカウトで制服を着用していた山本は、スカウト活動を通じて認識していたバッジ・システムの発想から各々が職責を果たし得られる徽章類は、自身の職責が認められた証であり、達成感を得ることで更に職務に精励しようというやる気を生み出すと、確信を持ち、第4級と第5級の防衛功労章の新設を行った。また、防衛研究所での幹部自衛官などが行う

教育課程においても修了時にその課程を終えた証を制服に着用できる徽章の創設を指示し、これは現在進行中である。加えて、諸外国から前途有望な若手士官候補達が、日本の防衛大学校で多数学び、世界に巣立って行っているが、その彼らにも制服に着用できる卒業の証である徽章が無いことに気が付き新設し、昨年から授与し、全員母国に帰っても誇らしげに防大の卒業徽章をその胸に輝かし活躍してくれている。

▲離任式で多くの自衛官・職員の見送りに応える山本

更に、職責を果たし、その功績が認められたにも関わらず、防衛記念章や防衛功労章が、なかなか隊員の手元に届かないという現実に気が付き問題視した山本は、速やかに各隊員の手元に届くように制度を改めた。ひどい場合は、受章が決まってから2年半も後に届くというケースもあり、職務における評価は、適切に且つ速やかに行うことで更なる士気向上が計れると判断した山本は、その現状に愕然としつつも大鉈を振るい全ての手続きを公正に且つ速やかに行うことで、約3か月で受章者の手元に徽章類が届くように改めた。また、ある種の転勤族である隊員たちの引っ越し代問題やパワハラ・セクハラ問題などにも引っ越し時期の分散化、代金補助のルール変更、相談窓口の新設・外部への開放など新たな対策を打つなど、とにかく現場の改善に取り組んだ2年2ヵ月であった。

新たな外交的発想による安全保障環境の構築

防衛副大臣に就任してから山本が、着目していたのは、他国との新たな信頼醸成の構築である。最初の任期中で訪問したエジプト・アラブ共和国とブラジル連邦共和国は、山本の発案で訪問を実現した。どちらの国も日本では有名な国であるが、意外なことに、実は、山本が訪問するまで、防衛政務三役（大臣、副大臣、大臣政務官）が誰も訪問していなかったのである。エジプトは、「中東の雄」とも称され、中東地域に多くのエネルギー源を依存している日本にとって、その地域の安定と平和

が不可欠にもかかわらず、その「中東の雄」との関係構築が手付かずであった。これを問題視した山本は、その道を切り拓こうとエジプトを訪問し、エジプト軍参謀長であるマハムード・イブラーヒム・ヘガージ陸軍中将と会談するなど新たな関係構築に乗り出した。ブラジルは、「南米の雄」と称され、加えて、世界最大の日系人居住地でもある。そのブラジルにも、実は、山本が訪問するまで、防衛政務三役が誰も訪問していなかった。南米での影響力、そして、日系社会が確固たる地位を築いているにもかかわらず、その力を有効に活用できていないことを憂慮した山本が、新たな関係を構築しようとブラジルを訪問し、シルヴァ・イ・ルーナ国防大臣と会談し、両国が防衛協力・交流覚書の署名を早期に行うことで一致するなど新たな活路を開いた。

今回の任期中には、新型コロナウイルスが世界中に蔓延した結果、諸外国を訪問し外交を展開することが困難になってしまった。しかし、再任された当初から前回の任期中から訪問を山本が企画し、小野寺防衛大臣（当時）からも「意義のあることだから是非、行ってくるように」と言われていた南太平洋の島嶼（とうしょ）地域」（ポリネシア・ミクロネシア・メラネシア）への訪問をいち早く企画し直した。結果、河野防衛大臣からも渡航の許可を得て、コロナが蔓延する直前に何とか滑り込みで、当該地域で国軍を有している3カ国（パプアニューギニア独立国、フィジー共和国、トンガ王国）を全て訪問することが出来た。どの国も日本から防衛政務三役が訪問したことは今まで無く、初めて訪問する山本は歓待を受けた。現在、中国が精力的に当該地域においての影響力を拡大しようとしていることに懸念を抱いた山本は、自ら訪問の計画を立案し、各国の国防大臣と会談を行い、自由で開かれたインド・太平洋の重要性を説き、基本的価値観である法の支配、人権、自由の大切さ、そして日本との更なる連携を維持発展していくことで各国の国防大臣と意見の一致を確認した。

内閣が変わり、山本も防衛副大臣の任を解かれたが、在任中に行った計画がまだ継続しているものもある。どのような立場になっても山本は、一国会議員として引き続き、日本の安全保障環境の更なる発展に寄与することだろう。本誌でも機会を捉えて紹介していきたい。

駅で「ぽれぽれ通信」をお配りしております
駅頭活動報告

「副大臣、お疲れ様でした」
「SNS 見てます！」「頑張って」
「本物だ！」など沢山
のエールを頂きました。

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。

前回の「ぽれぽれ通信」配布数

9月・10月集計分

駅 名	9月	枚 数	10月	枚 数	前月比
逗子駅	1日（火）	133	26日（月）	233	↑
逗子・葉山駅	17日（木）	187	2日（金）	227	↑
鎌倉駅（東口）	15日（火）	231	5日（月）	260	↑
鎌倉駅（西口）	4日（金）	93	6日（火）	245	↑
大船駅（西口）	29日（火）	337	19日（月）	303	↓
大船駅（モノレール口）	8日（火）	114	21日（水）	255	↑
大船駅（東口）	9日（水）	123	20日（火）	321	↑
大船駅（笠間口）	28日（月）	386	22日（木）	303	↓
本郷台駅	11日（金）	297	13日（火）	355	↑
港南台駅	14日（月）	111	14日（水）	145	↑
	9月配布合計	2,012	10月配布合計	2,647	↑

アドレスは「ぽれぽれ」

twitter、Facebookも本人がやっています

皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。

twitter @ty_polepole

facebook facebook.com/ty.polepole

第25回

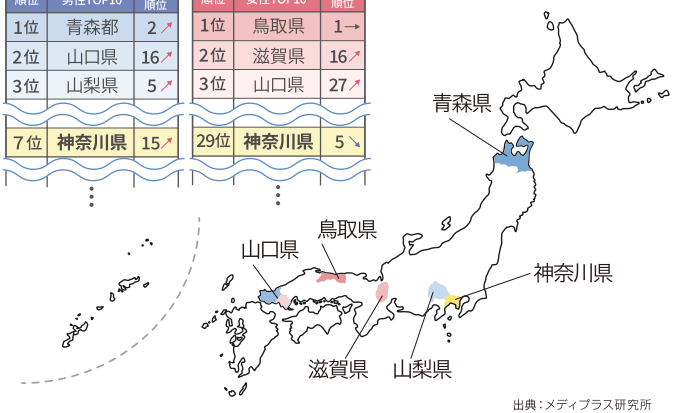
コロナ禍の影響はいかに？ストレスオフ県ランキング2020発表

山本らが協力している「(一社)ストレスオフ・アライアンス」などの連携により実施している当ランキング。今年は新型コロナウィルスによる自粛期間後に調査を行った。

ストレスオフ県ランキング2020

順位	男性TOP10	2019年順位
1位	青森都	2↗
2位	山口県	16↗
3位	山梨県	5↗
7位	神奈川県	15↗

順位	女性TOP10	2019年順位
1位	鳥取県	1→
2位	滋賀県	16↗
3位	山口県	27↗
29位	神奈川県	5↘



出典：メディプラス研究所

4年目となる今回、男性第1位は「青森県」、女性は2年連続3度目の第1位となる「鳥取県」という結果に。首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）では、新型コロナへの不安感が「ほとんどいつも」感じている人が男性10.5%、女性15.6%であったのに対し、青森男性は6.2%、鳥取女性に関しては7.5%と半分以下で、地方と都市圏のストレスオフ指数差に関連していることが窺える。

「神奈川県」はというと、男性は15位から7位と順位を上げたが、女性は24位から29位へとややダウン。過去の調査では「通勤時間」が大きなストレス要因であると分析されており、自粛期間のリモートワークで通勤ストレスから解放された男性と、パートナーが家にいることでストレスが多くなった女性との対比が浮き彫りとなったのかもしれない。

嫌でも新型コロナによる制限や高ストレスの負荷を受ける今、求められるのは自らストレスをコントロールする術だ。今回のデータを活かし、少しでもストレス指数の改善に役立てていきたい。

山本ともひろプロフィール

経歴

■関西大学 商学部 卒業
■京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
■(財)松下政経塾 卒塾 (21期)
■米国ジョージタウン大学 客員研究員、
その後、会社員を経て
■平成17年 衆院選 初当選
■平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
■平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
■平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
■平成30年 自民党 国防部会長 就任
■令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任

自由民主党
衆議院議員（4期 12年）
神奈川4区（栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町）
昭和50年(1975年)生まれ
45歳 鎌倉在住

分かりやすいと大人気！

国会見学案内実施中!

国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか？
「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった！」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。

ぽれぽれ通信って何？

「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場（ケニア）に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。

山本ともひろ事務所リスト

本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和2年（2020年）11月2日発行 第55号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943
※本誌は、隔月（1、3、5、7、9、11月）発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。